

インフラクリエーター（現場監督）スタイリッシュ化プロジェクト

株式会社加藤建設 代表取締役 加藤 徹

加藤建設本社〒497-8501 愛知県海部郡蟹江町蟹江新田下市場 19-1

電話 0567-95-2181

<http://www.kato-kensetu.co.jp/>

【ねらい】

- ・建設業のイメージアップ
- ・モード学園学生の実社会での活躍の場の提供

【おこなうこと】

- ・建設会社の作業服のデザインをモード学園学生がデザイン。
- ・コンペ方式により採用の決定後、その会社のユニフォームに。

【将来展望】

- ・コラボ企画が第1弾、…第3弾、…第10弾と進めば進むほど、街中の工事現場はスタイリッシュなモード学園デザインに身をつんだインフラクリエーター（現場監督）達が未来の街づくりに汗を流す風景が広がっていく。



プレゼン実施状況

“きっかけは変えたい！！という想い”

2012年、㈱加藤建設は創業100周年を迎えました。新たなスタートを切った頃“建設業のイメージをよりいいものに変えたい”という想いが強くなりました。そこで私たちはルックス（ユニフォーム）を変えようという発想に辿り着いたのです。

そこで、地元の『名古屋モード学園』にデザインを相談したところ、モード学園には「産学直結ケーススタディ」という授業の一環で即戦力を企業とともに育てるものがあり、ここで『建設業×デザイン専門学校』という異業種コラボが成立したのです。



表彰式の状況

“学生みなさんに建設業を知ってもらおう”

モード学園の学生さんにデザインをしてもらうにあたって、まず建設業を知ってもらう必要がありました。そこで我々は、学生さんに“面白おかしく、でも真剣に仕事している業界”をプレゼンし、これにより建設業に対するイメージを高めてもらい、そこから生まれたデザインによってイメージUPに繋げるねらいがありました。

また、コンペ方式として行い競争してもらうことで、個人の能力UPにも繋がったのではないかと思います。



最優秀賞受賞者

“将来、街中の現場監督がスタイリッシュになるように”

学生さんのデザインも出来上がり、社内選考の後に発表会&表彰式を行いました。約150点の応募作品の中から選ばれたのが右の作品。動きやすさや収納性、機能性に富み、且つスタイリッシュなユニフォームが選ばれました。来春にはこのスタイルで仕事ができる予定です。

現在、このような取り組みをまずは中部からということで、中部青年建設会議にお声掛けて進めています。

インフラクリエーター（現場監督）スタイリッシュ化プロジェクトが将来、全国に普及することで、建設業界全体を『なりたい職業No1 カッコいい職業No.1』にしたいという夢があります。

そのためにも、まずは私たちが“人々に魅せる”を意識し、これを機に業界全体として元気ある未来への街づくりをしていければと思っています。



最優秀作品(ユニフォーム)